

五十組之記

仁

初音香 禁裡香  
花鳥香 小蝶香  
暮春香 花王香  
子規香 罌時鳥香  
名所鶴川香 五月雨香

多  
1398  
31





明 7 多  
1338  
31



五十組之内 仁

初音香

禁裡香

花鳥香

小蝶香

暮春香

花王香

子規香

四季時鳥香

名所鶉川香

五月雨香



初音香

香四種

春〜 罍徳内 一色 試

霞〜 三色 徳内 試

花〜 右同 試

手試 香  
春試 香  
文試 香  
味試 香  
禁試 香  
小試 香  
亦試 香  
四試 香



寫して

一色徳同り

先最初は春の香一色は辰一色入二色績  
合れまゝ又春一色辰一色花一色上二色一績  
残春辰花四色打文内一色と寫を入罫  
一績ひきき扱春の試終る先初の二色績

合あゝと打文終りた南とい初辰と書不南の  
不書尤春の試合せる南辰辰辰辰一色  
か知るる次に二色績ひあを打文  
は五ま南皆南とい初花と書南一色  
の南の春辰花の文字と南と



書附不尚ハ其書附むこれの香ハ試  
一種のよメ知る一處ハ一類ハ好メ好  
一類す多ク知る一類ハ四色結ハ有ク  
打交類ハ多ク一類ハ初言ハ書二三類の  
尚ハ春ハ辰花鳥の文字ハ書一

古書ハ好メ終ハ少の所ハ各初言ハ文字  
ハ書附無クあれハ用の中ハ尚付不用  
始二種ハ二類ハ一類ハ三類ハ四類ハ  
多ク本香ハ先ハ法ハ銘ハ少ハ後ハ書  
尚記面ハ一類ハ一類ハ



春

辰

初

音

香

之

記

寫

春辰

春辰

辰

春

青柳

初辰

初辰

辰

五

花橘

初辰

初辰

初音

全

月日

出香

名衆

江録光ノ順



林示裡香

香三種

櫻

三色徳内一色試

柳

右同以

杏

二色安紙



右試済く出香六色打交炬出き年試

合せれ打交

札表

花香舎 照陽舎 紫宸殿 弘微殿 清涼殿  
淑景舎 仁壽殿 温明殿 襲方舎 疑花舎

札裏

櫻柳 吉野 錦木 葛城 紅  
路野 緑 外山

都合九一の月 檜柳紅を一枚了其

外をいつとも二枚了り 打所たのり

檜くも柳のり

櫻のり

柳のり

柳のり

櫻柳のり

吉野のり

柳のり

錦木のり



櫻 各々 ハ

白城 ハ

春 ハ

紅 ハ

柳 各々 ハ

路野 ハ

春 柳 ハ

緑 ハ

春 梅 ハ

外山 ハ

花記の表々 終々 春々 大々

禁裡香之記

梅 ウ 柳 ウ 柳

梅 ハ

紫震殿

梅柳緑

四

仁壽殿

梅緑緑

叶



月日

出香名集

记录是... 順生

夜烏香

香一校

梅子

思体月

...

...

...

...

...

...

...

...

...



花鳥香

香四種

梅 一斗 罌 徳内 一包 試

枇 一斗 右同り

櫻 一斗 右同り



春

一色紙を試

先最初の一と試して次本香の十包を  
折交一箱出さす試の梅と多しの一のれ折梅と  
あつれ二のれ折梅一 次は又試一種と出香  
一種と出さす多し一二の香とあつれ三のれと

折次はまた試一種紙出さす先も一二三の試は  
合れと折梅一但一二三ウの文字の紙試の如く  
は文字より梅を紙出さす折梅一客れは折  
紙は紙試の多し十粒香と一二三ウと続石折  
り又客香出れに記録と出香の如く一番を賞



一書二番の出来のまゝに書三番の出来の雲雀  
 一書四番の出来の春と書魚一先と  
 花友の書あり時迄とも魚一十番の客出  
 といふ金と書一紙記録の面々能く了る  
 たりと

花鳥香之記

松 松 松 松 松 松 松 松 松 松

札名 松 松 松 松 松 松 松 松 五

札名 松 松 松 松 松 松 松 松 八

月日 出香 名 衆



記錄先日順...

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '此' and '香'.

小標香

香四種

一 二 三 色 德 月 色 儀

二 三 右 同 以

此 紫 上

二 色 德 月 色 儀



秋好中宮にて右同り

右試紙にて四包は各四包の内打交内一包投  
三色八七包打交打生を各ウ二種共歳  
ふれいす合ふ半の二種同香味をせり其  
少る應じて紫を中宮にて南の下草

書中宮を紫にて南の八重山吹書  
紫を案にて南の花園書中宮を  
中宮にて南の小楳書太のて下  
も徳を下に教をたふる年一書も出  
この記録の事歌を書む中宮より出れ中



其の歌と書角一左のそ

紫多し出さ

花園の小蝶とけさる下州

秋もはるかにいさるる

中宮多し書

小蝶もはるかにいさるる  
心あはるる  
山吹もはるかにいさるる

只記録の面々終るまで左

小蝶香之記

一紫 中二 中一

名 一紫 一 中 二 中 四

名 一紫 中 二 中 一 小蝶 全



月日 出香名乘

记录是上顺与名

淡竹露... 中... 小... 淡竹露... 中... 小...

暮春香

香四柱

淡竹露... 中... 小... 淡竹露... 中... 小...



暮春香

香四種

一 香包 二 香袋 三 香囊 四 香佩

一 香包 二 香袋 三 香囊 四 香佩

一 香包 二 香袋 三 香囊 四 香佩

右同

右同



卷一

百二徳正成

右に試十短香のそと一組で先宿幼は一二三  
九包と打交て内より二種ぬき又一種ぬき残  
六包、各一種を加く七包して二種ぬき居  
ハ始終不中一包ぬき居ると寂知ハ短玉を

身能中て後は同香三種有りと同と  
江紙に書附出ま居りて外ハ試の格准と  
中居

右一苗居人よ

人無更少時復措



後の春南より人より

年不常春酒莫定

又ち一めの春の後の春香もあつた人より款

と書けり

この一冊をねのめりたし

この一冊をねのめりたし

又高様より不中の人より

この一冊をねのめりたし

この一冊をねのめりたし

又右高様より新香より人より始の



子下敷の如く暮春と書けり又始の一の  
 香三後出と書くと不出と書くと又出と書くと出る  
 と書くと人の始の一の後の香の如く人の始の  
 香の上の句と書くと又人の始の一の後の香は不  
 出と書くと又遠た人の始の後の香の句  
 たるを書くと一種の如く南の如く書かれたるの  
 面々能く考へたものと

暮春香之記

一三三三一一三三ウ

名 一三三三一一三三ウ 一人無更少時浪帰 二



名

一三三三三三三三三

多のしと春と早の財の  
三三三三三三三三三  
暮春

月日

出香 名衆

まろ〜乞〜

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

夜王香

香の粒

一唐香

一唐香

一言香

一言香

一言香

一言香



花王香

香四種

一唐葵

二葛蒲

三芍藥

三色德



四牡丹

一包、徳月

右試法、先葵草菫の出香、赤包と打交  
内二包より芍薬の香一包加、三包と打交  
試法合、葵草菫の札と芍薬の香  
故三のれと芍薬、一程つ、本香用

き記録、一、法、中、高、平、と書附  
不、高、と、不、書、扱、右、三、種、た、り、く、残、葵、草  
菫の四包より芍薬二包と入、又牡丹一包と加  
一七包打交、短、中、紙、始、め、と、一、初、後  
あ、を、せ、十、包、あり、右、一、種、し、り、る、れ、



此紙の点印あり左のそと

牡丹を人少七点二人の三点三人より五点  
又少少二人三人迄右五点四人星つら

り

芍薬三種間の二点了二種少の一点了り

一種少の点より南斗又三種少の二種少

一種少の点同様に引り又牡丹斗南

芍薬一種少の点の下の下中後

國香と書又芍薬斗南牡丹斗南同り

と將離と書又後不残南の点と書



又右の下すの必そろふの言も  
書る

皆五の教も 狂錦と書る

九ノ七五南の 珊瑚と書る

六五迄の南も 濃艶と書る

四<sup>三</sup>の南の 輕紅と書る

一二の南の 蕭條と書る

左<sup>三</sup>の人の 殺景と書る

左本式れ名左の

札表

- 東園 魏侯
- 楚侯
- 西園
- 梁朝
- 茶朝
- 南園
- 村園
- 漢民



札裏 唐葵<sup>三枚</sup> 菖蒲<sup>三枚</sup> 芍藥<sup>三枚</sup> 牡丹<sup>一枚</sup>

為記の表より終り左の二心

花王香之記

葵芍 葵草 牡丹 葵 芍 芍 芍

東園

葵芍 葵草 牡丹 葵 芍 芍 芍 參差 瓊珊

楚候

葵芍 葵草 葵 芍 芍 芍

濃艶

月日

出香 名采

記録先上項を



子規香

香四種

一

色浪内五試

二

右同

三

右同



答して 二色は成

右成始く出香八色一二三ウと一結ハ又二  
三ウと一結ハ二と三ハとて先一結ハの四  
包と字の金 初卷の中ハ香山館龍子規と  
し待題と界して香山館と書又一二三の

内ハ折ハハ子規と申と函ハ一二三の文字ハ  
書四種始く残りの一二三ウの四色とハ打交  
一色と一結ハと金 塔と字ハ各同ハ書  
左の五

一と書字ハ 楚墓銘其體漸稀



子規のこゝろ

雲埋老樹空山裏

子規のこゝろ

新猿今夕懐故衣

冬にゆく人のこゝろ

彷彿千聲一度花

秋江の表へ行く人のこゝろ

子規香之記

ウ 一三二

名

香山館

一二三

雲埋老樹空山裏

名

子規

一ウ三

楚塞餘寒聽漸稀

名

香山館

一三二

雲埋老樹空山裏



月日

出香 名来

记录之顺序

四季時鳥香

二香四種

月

七色、港内一色試

重

右同以

花

右同以



時鳥

二色

右月雪花の試四季。冬して春の花と作  
て花月雪秋八月と始て三月雪花冬  
ハ雪と始て雪月花して試香好玉出香  
六色とたのむ二色つ結いあまきり丸

の打板

花 一 張 花 丸

月 一 張 月 丸

雪 一 張 雪 丸

春 一 張 時鳥丸



花月と一様  
入相の花

月花と一様  
職夜の花

月雪と一様  
待宵の花

雪月と一様  
有明の花

雪花と一様  
明農の花

花雪と一様  
吹雪の花

右の通り二種了、結い合十組して一様にして  
昔々前後出香包もまねてきたりたつて今  
これ左の通り

札表  
梅風 朝鶴 橘雨 夜鶴 秋露  
夕風 芦霜 曉鴛 松烟 昏鴉



札裏  
花月 聖 時鳥 入相  
 臘 待宵 有明 明農 吹雪

一南季よりつてたとの春多れ一の出香を花  
 と定一人すまれの四点多く但是の一種より四五  
 つて二種也左右四五つて八多き多き  
 秋冬は是の札紙 又夏の時多くは紙

用はまんの紙紐の糸一多く不はまんの常  
 二点つて多き多き 右の多は古法多し新式は  
 花月雪の座を構はつて右三季  
 の紙は多は三点つて二人多れは二点三人  
 一点つて多し時多は紙試して多紙多き



れじくゆ五左二人も三左了三人も二左

又片角の五ありつと一左あり

つる但片角の格別 雪月花時

点左左くもゆ五左左れ十左も

三左左れ六左もゆと初年抄書

星を付く雪月花時つと点の教

りて星を付く

古法ハ札より二種よりもして記録

銘の字と書附直点星を付之新式

中流よりけえの二種での右月合記

残り書附字又時鳥と上巻して都合



古五色... 式あり... 可  
 用去... 意不面白  
 故南家... 不用... 其式... 爰... 不  
 頭... 新式... 可用... 記... 能... 可  
 考... 左...

札 札

四季時鳥香之記  
 月 月 月 月  
 花 花 花 花  
 雪 雪 雪 雪  
 月 月 月 月  
 花 花 花 花  
 花 花 花 花  
 月 月 月 月

卯 卯 卯 卯  
 相 相 相 相  
 吹 吹 吹 吹  
 煙 煙 煙 煙  
 侍 侍 侍 侍  
 帆 帆 帆 帆  
 夜 夜 夜 夜  
 有 有 有 有  
 時 時 時 時

正五十二  
 片五十四  
 星五十四

卯 卯 卯 卯  
 身 身 身 身  
 雪 雪 雪 雪  
 骨 骨 骨 骨  
 雪 雪 雪 雪  
 明 明 明 明  
 後 後 後 後  
 農 農 農 農  
 相 相 相 相

正五十八

月 日

出 香

各 衆



記録先子准正年

名所鶉川香

香六種

山城

左包、俣目一包、試

大和

右同

近江

右同



出羽にて

右目み

肥前にて

右目み

越中にて

五包俵を成

右試香紙にて十包打交恒年手多し併二種

しきりて記録の事なるは年一 本香を

一二三四五ウチノ書後々の中より六國の所

々記録の事年一五國ハ一種つて越中

斗一五種にて各々五半ハ名所新川

多きありし左の事

山城 大井川

越中

鶉坂川



大和 夏真川 越中 崎田川

近江 田上川 同 宇奈比川

出羽 最上川 同 比賣川

肥前 玉島川 同 叔羅川

其外餘國はあはれも大畧の如し

能く記録し准知する

名所務川番之記

一 二 三 四

山城 越中 肥前 越中 越中  
越中 越中 大和 近江 出羽  
全

越中 越中 山城 越中 越中  
越中 大和 越中 出羽 肥前  
四



名

山城越中越中肥前越中  
大和出羽越中近江越中

四

月日

出香 名乘

外之好順手又括のりと川のり書附の本  
香と函名のり書附の本

五月雨香

香立

香立

香立

香立

香立

香立

香立



香五種

月日 出香 名茶

外今頃又燒、多々川、方付本

香五種

五月兩香

香五種

春、夏、秋、冬、香

夏、秋、冬、香

秋、冬、香



冬

右同り

五月

二色

右試香

秋冬の香

五月

記紙

文字

雨

書

春

夜



次の香と

花の香と書

夏るゆきと書

白雨と書

次の香と

葦風と書

秋るゆきと書

杖雨と書

次の香と

野分と書

冬雨ゆきと書

時雨と書

次の香と

落葉又の嵐と書

五月るゆきと書

徒然と書

右は右目不遠紙の徳全の人の下の下敷の

みよ五月ると書又中よの無梅ると書



愚按まゝにけし梅のころの半ハ俗信を  
後作す。さする右記香ハ古歌ハ

村のハ時をさる物  
ハまことさる物ハ五月の

ると記の面を能く考へ記録左のまゝ

五月兩番記

夏夏 秋秋 冬冬 春春 夏夏

名乗

臘夜 野分 徒花

正梅雨

名乗

白鳥 野分 臘夜 嵐 萱花

五月雨

月日

出香 名乗

記録をいへば又南の年 書附の式あり

之が記録、不字まゝに記紙を本番より合下



南斗其附其所以占不入

山則子... 入...

... 徒... 在...

云

... 烟...

云

云

... 香...

云



